TOSHIBA 東芝高輝度避難口誘導灯用点滅装置（電池内蔵形）

取扱説明書

保管用

認定

点滅装置

（天井直付形）XEF-20102F・DC

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明　**工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。**

安全に関するご注意

⚠警告

●**施工は、取付方法にしたがい確実におこなってください。**

施工に不備があると正しい避難誘導ができないほか、火災・感電・落下の原因となります。

●**器具を改造しないでください。**火災・感電の原因となります。

●**表示された電源電圧（100V±6V）・周波数以外の電源で使用しないでください。**

火災・感電の原因となります。

●**蓄電池は、短絡・分解等しないでください。**破裂・やけど・火災・感電の原因となります。

⚠注意

●**この器具は一般屋内用器具です。**

雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないで下さい。

火災・感電・落下の原因となります。

●**周囲温度は、5～35℃以外では使用しないでください。**

蓄電池の劣化や火災及非常点灯しない原因となります。

●**XEF-20102F・DCでは信号用端子台はDC24V専用です。それ以外の電圧を使用しないでください。**

火災の原因となります。

●**音声ブロック連動端子の接続は、必ず付属のシールド線をご使用ください。**

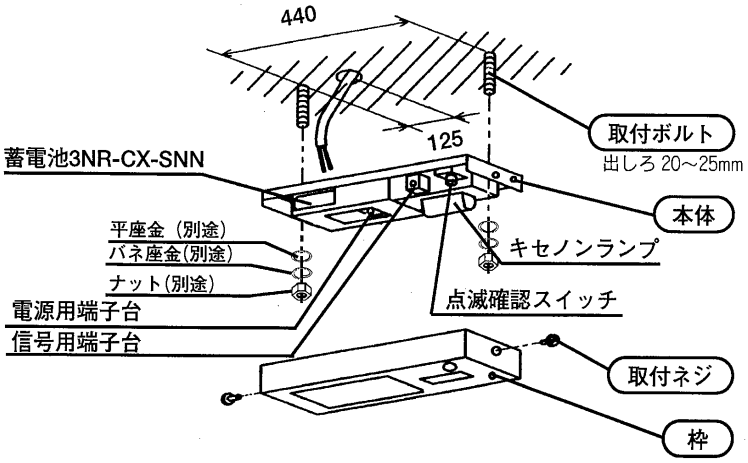
付属のシールド線以外のものを使用した場合、誤動作の原因となります。

各部のなまえと取付けかた

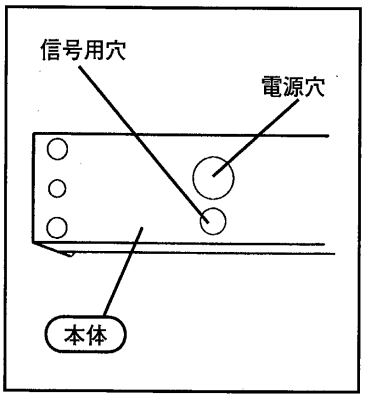
⚠警告

施工は、取扱説明書にしたがい、確実に行ってください。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

取付方法

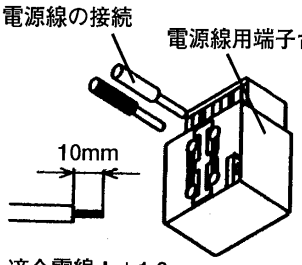


電源穴・信号用穴の位置



電源線の接続

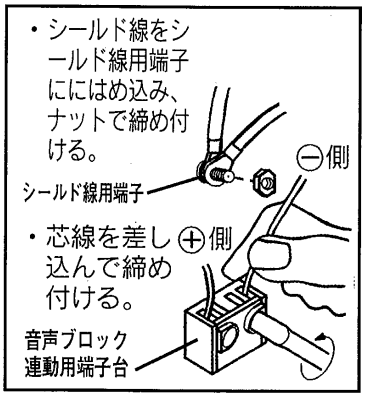
・電源線は確実に差し込む。



適合電線：φ1.6
（単線）　φ2.0

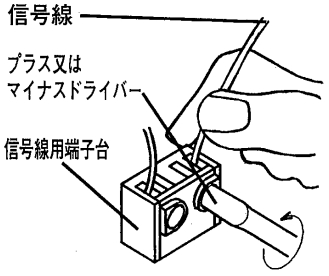
MVVSコード線の接続

・シールド線をシールド線用端子にはめ込み、ナットで締め付ける。

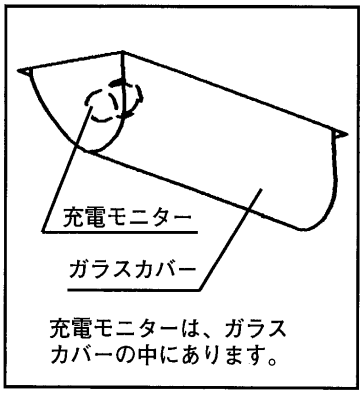


信号線の接続

・信号線を差し込んで締め付ける。



充電モニターの位置



充電モニターは、ガラスカバーの中にあります。

1.取付前の確認

・器具重量（2.0 ㎏）に十分に耐えるようボルト取付部の強度を確保する。
・スタッドボルトはW3／8 又はM10 を使用する。

強度不足ですと、落下の原因となります。

2.本体の取付

・枠を外す。
・電源穴に電源線を通す。
・信号用穴に信号線・MVVSコード線（シールド線付）を通す。
・本体を取付ボルトで確実に取付ける。

取付に不備があると、落下の原因となります。

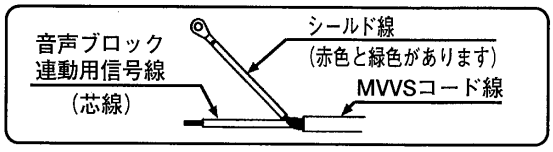
3.電源線・信号線の接続

・電源線は器具内の電源接続端子台へ確実に接続する。
・端子台の送り容量は20A です。
・誘導灯用信号装置からの点滅信号線は、必ず器具内の信号用端子台へ確実に接続する。

接続が不完全な場合や容量オーバーの場合、感電・火災の原因となります。

・音声装置との連動信号線は必ず付属のMVVSコード線2本を使用し、器具内の音声ブロック連動端子台へ確実に接続する。このとき、シールド線が赤色の信号線をプラスに、シールド線が緑色の信号線をマイナスに接続する。
・シールド線（赤色と緑色）をシールド線用端子に接続する。

信号線のプラスとマイナスの接続を誤りますと誤動作の原因となります。



4.蓄電池コネクタの接続

・方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
（蓄電池コネクタを接続すると、キセノンが点滅します。）

接続が不完全な場合、不点の原因となります。

5.枠の取付

・取付ネジにて、枠を確実に取付ける。

取付けに不備があると落下の原因となります。

6.誘導灯の取付方法

・誘導灯に同梱してある取付金具を、誘導灯取付用穴を使用して本体に取付ける。
（詳細は誘導灯側の取扱説明書参照）

取付けに不備があると落下の原因となります。

7.充電状態の確認

・電源を入れ、ガラスカバー内の充電モニター(緑色)が点灯していることを確認する。

正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」の項を参照してください。

取扱説明　**お客様へ、この説明書は必ず保管ください。**

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠警告

●**器具を改造しないでください。**
火災・感電の原因となります。

●**万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、火災・感電の原因となります。**
すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

⚠注意

●**蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。**破裂する危険があります。

●**蓄電池は絶対に分解しないでください。**感電・やけどの原因となります。
蓄電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。

●**蓄電池のショートは絶対にさけてください。**火災・破裂・感電・やけどの原因となります。

●**照明器具には寿命があります**[*1]**。3～5年に一回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切に処置してください。**放置すると、火災の原因となることがあります。

＊1　照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は10年です。但し蓄電池は4～6年です。

お手入れ・部品交換（必ず、電源を切って行ってください。感電の原因となります。）

・器具の清掃について ・・・・・・・・・・・・・・・・・汚れを落とす場合は、やわらかい布に石けん水を浸しよくしぼってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどでふかないでください。変色、変質の原因となります。

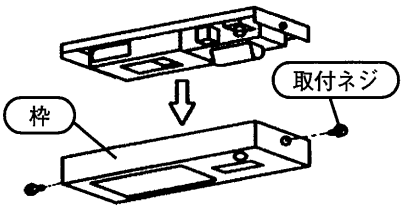
・蓄電池交換について ・・・・・・・・・・・・・・・・・本体表示にしたがって、下記の指定された部品を使用してください。

交換部品

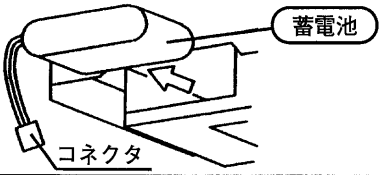
器具品番	蓄電池
XEF-20102F・DC	3NR-CX-SNN (3.6V 2500mAh)

・部品交換方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・下図を参照のうえ確実におこなってください。

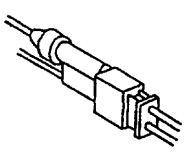
1.枠を外す
①取付ネジを外す
②枠を外す



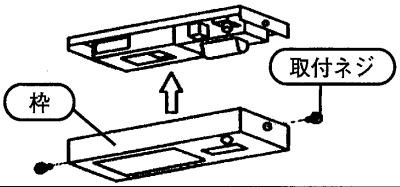
2.蓄電池コネクタを外し蓄電池を交換する
（注）コネクタをミニクランプにはめ込んでください。



3.蓄電池をラベルの指示に従って挿入しコネクタを確実に接続する
接続が不完全な場合、不点の原因となります。

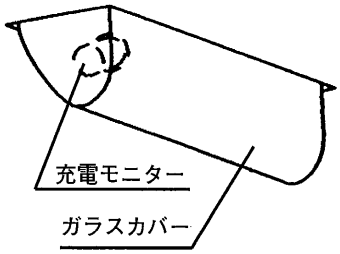


4.取付ネジにて枠を取付ける
取付けに不備があると落下の原因となります。



5.充電状態の確認
電源を入れ、ガラスカバー内の充電モニター（緑色）が点灯していることを確認する

正常に動作しない場合は「故障かな？と思ったときは」の項を参照してください。



充電モニターは、ガラスカバーの中にあります。

◆定期点検　3ヶ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。
6ヶ月に1回は、必ず非常点滅持続時間（20分以上）、切換動作などの機能点検も合わせておこなってください。
（点検については、消防庁告示第3号および第14号に定められています。）

○設置年月日　年　月　日　　○取付場所　　○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者	点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能			外観	機能			外観	機能	

故障かな？と思ったときは（お調べの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。）

・表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

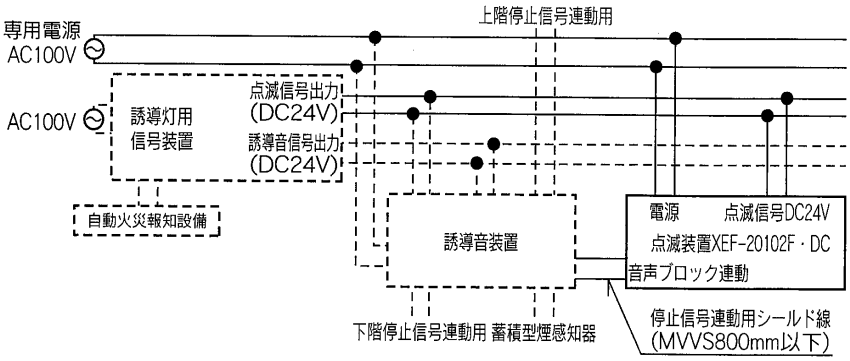
現　象	考えられる原因	処　置
非常点滅しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタ接続する
短時間しか点滅しない（20分未満）	蓄電池の充電不足（保管時の自然放電や、施工時の放電など）	24時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池交換する
充電モニターが点灯しない	蓄電池コネクタ外れ	コネクタ接続する

器具定格・接続図

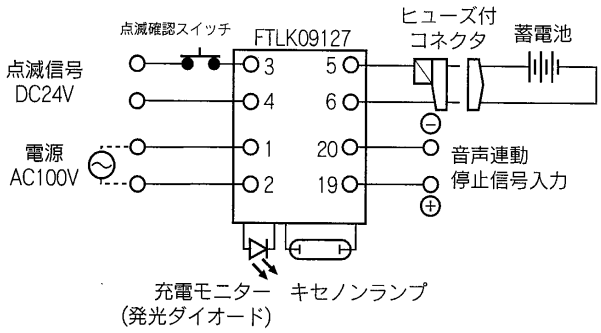
定格

品番	XEF-20102F・DC
定格電圧	AC100V
入力電流	0.022A
入力電力	1.8W
点滅信号	DC24V

システム接続図



器具内接続図



Ni-Cd

この器具には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
ニカド電池の交換、およびご使用済製品の廃棄に際してはニカド電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

東芝ライテック株式会社　施設・HID事業部　〒140 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）　TEL03-5463-8768

<生産完了 2004年01月01日>